

恵庭市中小企業振興審議会(令和5年度第1回)

日時：令和5年11月15日(水) 13:30

開場：恵庭市役所 第2・3委員会室

次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 委嘱状の交付
4. 審議会長・副会長の選出について
5. 議事
 - (1) 恵庭市中小企業振興基本計画の概要について
 - (2) 令和4年度基本計画推進管理専門部会での意見・提案に対する回答について
 - (3) 令和5年度基本計画推進管理専門部会での意見・提案について
6. そ の 他
 - (1) 今後のスケジュールについて
7. 閉会

恵庭市中小企業振興基本条例「キャッチフレーズ」

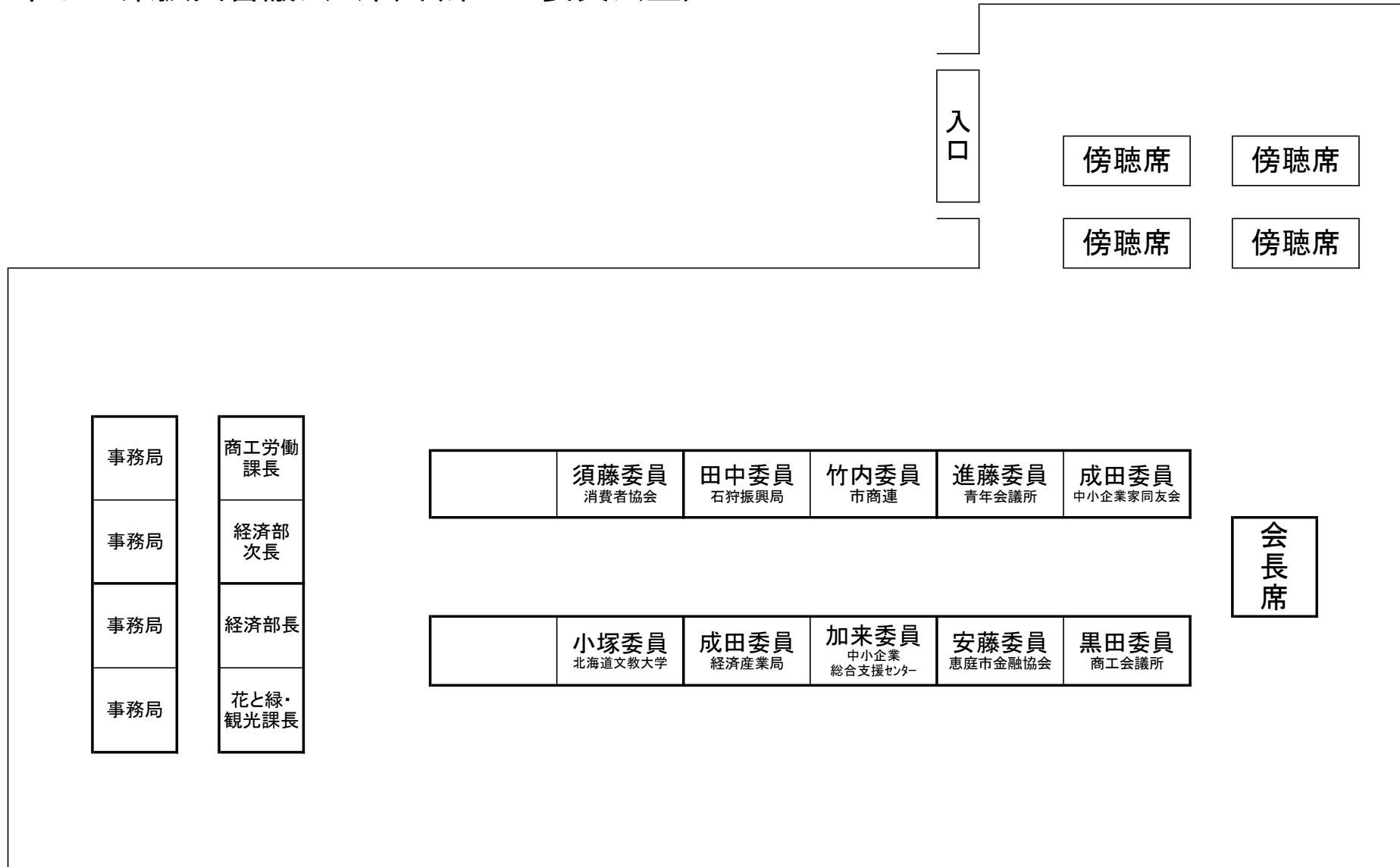
「ゆたかさを描く恵庭のまちづくり」(一般公募優秀作品)

(八京義一さん/島松本町在住)

中小企業振興審議会 委員(令和5年2月2日～令和7年2月1日)

所 属	役 職	氏 名
北海道中小企業家同友会 札幌支部 千歳・恵庭・北広島・長沼地区会	副会長	なりた しげとし 成田 茂利
恵庭商工会議所	副会頭	くろだ まさし 黒田 雅史
恵庭市商店街連合会	副会長	たけうち きよし 竹内 清
(一社)恵庭青年会議所	理事長	しんどう ゆうすけ 進藤 裕介
恵庭金融協会	会長	あんどう たかよし 安藤 隆善
恵庭工業クラブ	副代表幹事	いとう よしゆき 伊藤 良幸
(公財)北海道中小企業総合支援センター	経営支援部長	かく みつてる 加来 光輝
道央農業協同組合	理事	かとう つよし 加藤 強
北海道経済産業局	産業部 中小企業課長	なりた あきひろ 成田 明弘
北海道石狩振興局	産業振興部 商工労働観光課 長	たなか ひさし 田中 尚
北海道文教大学	准教授	こづか みゆき 小塚 美由記
恵庭消費者協会	事務局長	すどう すすむ 須藤 進

中小企業振興審議会 席図(第2・3委員会室)



令和5年度 専門部会 意見・提案集約表

	課題(P16)	課題解決に向けた視点(P20～)	事業名	事業の概要	計画記載事業に対する専門部会委員の意見・提案
恵庭の魅力向上の取組 基本戦略2	(7)観光振興に関し、その展開の是非を含めた具体的施策の検討	視点2: 地域資源を活用した商品・サービスの開発、販路拡大の推進 視点4: 地域内での産業間連携の強化	企業立地促進補助金	固定資産税相当額(家屋・償却資産)、新規雇用者に対する助成	・本制度を知らない企業のために、地元メディアやSNS、地域のイベントなど利用して広く周知を図って欲しい。 ・工業団地への企業立地に係る既存の助成制度以外に、例えば、街中の空洞化したエリアなどに企業を誘導する仕組みとして、サテライトオフィスなどの立地に対する助成なども検討してはどうか。
			農商工等連携促進事業	農商工等連携推進ネットワーク事業費(商品開発・交流事業など)、えにわん産業祭の開催	・EC等のデジタルマーケティングのスキルを会員企業等に教育することも重要である。 ・友好都市である藤枝市との商品開発の連携について、抹茶に偏ったものだけでなく、和紅茶や柑橘類を取り入れた商品開発の可能性も視野に入れて継続的に市内事業者へ一次産品等の情報発信をすることが望ましい。 ・例えば、「えにわん産業祭」を2日開催にし、行われている2日間は、恵庭市内のさまざまな場所でイベントが開催されるといった、恵庭市内全体が盛り上がるようなイベントに発展させてはどうか。
			市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業	イベント「えにわマルシェ」開催に係る広告費	・現状はハンドメイドなどの出店が中心で内容が固定化されており、また、小さくまとまって広がりが無い印象を受ける。恵庭市内の事業者に縛られずに全道からハンドメイドの事業者を集める大規模イベントにするのも面白い。 ・市内に限定する場合においても、長沼の夕やけ市のように、普段はその職に精通していない事業者も広くイベントに参加するといった市民全体が盛り上がる市場のようなものが出来ると非常に面白い。
			首都圏シティセールス事業	札幌圏・首都圏への恵庭市のPR	・地元住民が自身のSNSで市の魅力を発信するような取り組みが作れば、さらにシティセールスは加速するのではないかと。 ・リポストを活用している投稿が少ないようなので、#ガーデンシティえにわとハッシュタグをつけた投稿で魅力的な情報は積極的にリポストすることが、質の高い写真や情報を多く発信できるとともに工数をあまりかけずにInstagramの効率的な運用が可能となる。一方で発信する側は、公式サイトからリポストでコメントしてもらうことで、満足感も得ることができ、さらなる投稿を促すきっかけとなることも期待できる。
			花のまちづくり推進事業	公共施設への花苗植栽、花苗購入費助成、花とくらし展補助、啓発事業、市内各駅前花装飾・花壇管理	・若い世代のガーデニング愛好家をどう生み出していくか、検討すべき。 ・花のまちづくりとしての取り組みは「ガーデンシティ」としてのブランディングにも関係しており、継続することが重要である。
			緑のまちづくり推進事業	緑のまちづくりの推進のため、市民植樹及びそのPR等を実施	・例えば、「植樹」というのを小学校や中学校の授業に取り入れることで、自然(緑)に触れることができ、自然教育と認知活動を同時に行うことが出来るのではないかと。 ・花のまちづくりと同様に継続することが重要。
			えにわ湖周辺レク施設管理事業	恵庭溪谷「えにわ湖周辺レクリエーション施設」維持管理費	・市から管理作業者にGoProなどのカメラを支給し、管理作業者が撮影した早朝だったり作業員だけが入れない立ち入り禁止の場所だったりの景色や映像を市民に届けられるような仕組みが作れると、話題性もあり、盤尻の観光や価値向上にも繋がっていくのではないかと。 ・ホーストレッキングなどの当該エリアの魅力あるイベントを通常開催するとともに、道の駅マリオットホテルやえこりん村などの観光関係事業と連携した企画(例えば、周遊パスなど)をENIWA EYEやガーデンシティえにわなどのInstagramで恵庭の魅力を発信していけば良い。また、えにわん産業祭やえにわ花と暮らし展の開催期間に合わせた連携イベントなどもえにわ湖周辺で同時開催するなど、面的な盛り上がりができる仕組み作りなども検討してはどうか。
			観光関係事業	観光PR関係・情報発信事業・パンフレット関係・WEBサイト更新関係	・マリオットホテルを拠点(ハブ)にして周辺の魅力ある観光資源を活用する視点は良い。 ・恵庭だけに限らず、周辺自治体と連動することも必要。 ・タクシーチケット事業も良い取組であるが、利用者の後追い調査を行うことが重要。
			ルルマップ自然公園ふれらんど環境整備事業	ルルマップ自然公園ふれらんどにおける環境整備	・パークゴルフ場は冬場には一部キャンプ場として利用してるところだが、1年を通してオートキャンプ場にする事で市外、海外からの誘客が見込めるのではないかと。

令和5年度 専門部会 意見・提案集約表

	課題(P16)	課題解決に向けた視点(P20～)	事業名	事業の概要	計画記載事業に対する専門部会委員の意見・提案
<p>恵庭の魅力向上の取組 基本戦略2</p>	<p>(7)観光振興に関し、その展開の是非を含めた具体的施策の検討</p>	<p>視点2: 地域資源を活用した商品・サービスの開発、販路拡大の推進</p> <p>視点4: 地域内での産業間連携の強化</p>	<p>台湾経済交流推進事業</p>	<p>台湾からの訪日教育旅行受入促進をメインとした将来的な対恵庭観光・投資拡大の推進</p>	<p>・アフターコロナの今後は教育旅行や北海道観光ルートへの取込が期待されることから、アウトドアやスポーツツーリズムなどの恵庭市の魅力を国内向けのシティセールスのみならず台湾等インバウンド客に向けて発信することが必要である。</p>
			<p>交流都市連携事業</p>	<p>友好都市である藤枝市とのECサイト管理費、連携開発商品への補助</p>	<p>・藤の恵について、通販サイトの認知拡大を行い、既存の商品がある程度売れるようになる状態を作るべき。販路がないのに商品を開発してももったいない。 ・両市で折半してインフルエンサーマーケティング等も有効。現在の該当ネットショップの月別取引件数と取引金額、最も売れている商品がわかれば改善策も打ち出しやすい。</p>
			<p>花の拠点整備(運営)事業</p>	<p>公園整備、松園線改良舗装、緊急貯水槽整備、農畜産物直売所・道と川の駅外構工事等</p>	<p>PFI事業で展開している農畜産物直売所かのなや道の駅の平日や休日を問わず混雑している様子を見る限りは、非常に恵庭市の魅力向上に大変寄与している事業だと思う。マリオットホテルに宿泊した方の口コミをみるとこれまで恵庭市を知らなかった道外からの観光客が「札幌よりも心惹かれる素晴らしい街」とコメントをしていたが、まさに、このように観光客がこのエリアを訪れ宿泊して同様の感想を持っていただくことが、恵庭の魅力向上に一番役立つのではないかと。</p>
			<p>移住・定住促進事業</p>	<p>移住・定住サイトの運営、移住相談会への出展、オーダーメイドツアー等</p>	<p>・施策的に移住政策は経済波及効果という視点で創業支援とともに非常に有効な施策。さらなる事業の推進が望まれる。 ・移住定住の決定率向上の取り組みとしてVRやARも導入し、よりリアルに「恵庭で暮らす」を体感できるような仕組みを検討いただきたい</p>
			<p>全国都市緑化フェアの開催</p>	<p>全国都市緑化フェアの開催(令和4年度で終了)</p>	<p>・全国都市緑化フェアの成功も元を辿れば恵庭市に協力的なガーデニング愛好家やボランティアがいたからであり、今後も「恵庭市＝花のまち」としてPRしていくためにはそのようなガーデニング愛好家やボランティアの確保することが重要。 ・道内外から30万人を超える多くのフェア参加者を集め、満足度も高く成功したイベントであり、今後は本事業のノウハウを活かしたうえで、えにわマルシェ事業やえにわん産業祭などのイベントにもこの事業で得られた知見を活かすなどして、さらなる発展をしていただくことを期待している。</p>

令和5年度 専門部会 意見・提案集約表

	課題(P16)	課題解決に向けた視点(P20～)	事業名	事業の概要	計画記載事業に対する専門部会委員の意見・提案
雇用の確保 基本戦略3 人材育成の支援	(2)人材の確保(質・量とも)、人材育成に対する具体策の検討が求められている	視点1: 働きやすい労働環境の整備	就職促進事業	合同企業説明会、採用力向上支援事業委託	<p>・全国的に地方と都市部での進学率に格差がある。地方企業からの人材ニーズに対して地元出身者の就職志向が高まっている一方で、中小企業にとってはコスト面の課題により新卒者の採用が困難になっている。</p> <p>1ヶ月で4業界を経験することができる雇用創出と就職体験事業「つまみぐいパッケージ」を提案する。</p> <p>＜ 1ヶ月で4業界を経験することができる雇用創出と就職体験事業 ＞</p> <p>1週間ごとに業界をチェンジ。今週は営業、翌週は事務、翌々週は肉体労働、4週目は販売、など。必ず1週間で終わる(1ヶ月で必ず終わる)ため、やめにくいなどの負担がない。継続したければつまみぐいパッケージが終了したときに、改めて継続希望の旨を市に伝え、企業と繋げる。恵庭市としても雇用創出になり、求職者にとっても自分にあった業界・企業で働くことができ、企業にとっても人材のミスマッチを防ぎ、雇用創出と離職率の削減にも繋がる。</p> <p>・地元企業でも活用できるような雇用に関する補助金があれば良い。</p>
			地域職業相談室事業	国との相乗効果が期待される労働相談業務の実施 ※H29.10より市の施設に入居したことで、事業費としての計上はなし	<p>・地域職業相談室事業を通じて、就職決定率が44.5%から56.9%に改善したとあるが、未だに就職できていない44%程の人へのフォローアップが必要である。</p> <p>・地域職業相談室事業の周知方法として、カラーチラシの作成やホームページ、SNSへの掲載を行うと良い。</p>
			恵庭地方職業能力開発協会事業費補助金	認定職業訓練に係る事業費の補助 ※令和元年度末に恵庭地方職業能力協会は解散	<p>・意見なし</p>
			恵庭市シルバー人材センター事業費補助金	シルバー人材センターへの運営費、事業費の補助	<p>・シルバー人材の業務内容については多種多様であり、重要なもの。今後も補助金を継続して行うべき。</p>
			技能功労者表彰	市の産業の発展に功労顕著な者への表彰に係る経費	<p>・技能功労者は勤務期間が25年以上といった一定の条件を満たす者を対象にしているが、中卒で働き始め、25年以上働いた人は、同じ勤務年数の大卒者と比較して5年以上長く貢献しなければならず、これには不公平感がある。</p> <p>・市の要綱では45歳以上を条件にしているが、例外で若い人が表彰できる規定も存在しており、その周知を広く行って頂きたい。</p>
			外国人材の活用・共生支援	地域の日本語教室の開設による技能実習生支援、関係機関との連絡協議会の実施	<p>・民間企業との連携や、文教大学の外国語学科との連携(学生の教育の一環として、もしくは有償ボランティアなど)も有効ではないかと思う</p> <p>・日本語教育に力点が置かれているように伺えるが、多文化共生の視点では日本語を教えるという日本語理解という片方向の面だけではなく、在住する外国人の国の文化や言語を恵庭市民が触れる機会を用意するなど双方向の相互理解の場の創出や恵庭市内の公共施設などの英語表記など、より外国人が恵庭に住んでいて住みやすいと感じるハード面、ソフト面の両方の環境整備も併せて実施することが必要と考える。</p>

令和5年度 専門部会 意見・提案集約表

	課題(P16)	課題解決に向けた視点(P20～)	事業名	事業の概要	計画記載事業に対する専門部会委員の意見・提案
確立と産業間連携の強化 地域循環型経済の 基本戦略4	(4)地域内外での企業間の連携、産業連関を構築するすくみづくり、具体的施策の検討が必要	視点1: 市内企業同士の取引活性化による地域循環型経済の確立	恵庭工業クラブの運営	工業団地等の進出企業により構成、情報の共有化などを図る	・意見なし
			市内企業ビジネスマッチング事業	市内の中小企業と工業団地立地企業での取引の促進	・工業団地内立地企業のみではなく、起業初期や規模が小さい事業者にもマッチングの機会を創出してほしい。
起業・第二創業・円滑な事業承継等による 地域経済の活性化 基本戦略5	(1)流通・商業、サービス業での取引先や販売先などの販路拡大支援の必要性 (3)廃業可能性企業に対する支援策の検討が必要	視点2: 地元企業を支援する仕組みづくり 視点3: 起業・創業への支援	起業家支援事業	起業家セミナーなどの起業家支援を行う団体への補助	・昨年度実施した「起業メンター制度」「トップガンチャレンジ」は好評であった。これらの活動を通じて、起業家精神を持つ人々のサポートを継続して欲しい。
			起業支援事業補助金	市内で起業する者に対する補助(家賃・店舗改修費・広告費等)	・利用件数も年々増加しており、良いものであると思う。 ・対象要件、対象経費については利用者に見合うよう、検討していただきたい。
			駅まちプラザ賑わい創出事業	地域特産品のアンテナショップ機能、駅周辺の賑わいの創出	・お客様の地域活性化への取り組みは計画的、戦略的に進むべく最善の手法を模索されていると思う。 ・地域のイベントへの連動したプロモーションやパートナーシップを組んだマーケティング活動を行うと集客効率が良い。 ・地理的要因で直接的な広告展開が困難であるため、既存顧客を通じた口コミ・評判の広がりや、若手スタッフからのフィードバックを基に新たな集客施策を引き続き検討されたい。
			起業支援・事業承継支援相談員の配置	起業・事業承継支援を目的とした専門家(中小企業診断士)による個別相談会を開催	・中小企業診断士による起業支援・事業承継の相談は良い取組である。 ・事業承継はすぐには起きないことなので、例えば20年後を見据えての事業承継のための意識向上を図れるセミナー等があれば需要があるのではないかと

令和5年度(2023年～2024年)のスケジュール

項目		R5.4 2023.4	R5.5 2023.5	R5.6 2023.6	R5.7 2023.7	R5.8 2023.8	R5.9 2023.9	R5.10 2023.10	R5.11 2023.11	R5.12 2023.12	R6.1 2024.1	R6.2 2024.2	R6.3 2024.3
審議会	・推進管理報告								R5年度第1回 審議会 →				
専門部会	・委員委嘱									推薦依頼 →		専門部会委員改選 →	
	・R4年度事業検証 ・R5年度具体的施策のためのアイデア検討及び意見集約					R5年度第1回 専門部会 →							R5年度第2回 専門部会 →
市(事務局)	事務局会議関連 準備事項	・R4年度事業シート作成 ・R5年度各基本戦略事業予算資料作成			・第1回専門部会開催案内 ・資料送付 ・意見集約 ・配布		・第1回専門部会結果報告	・第1回審議会開催案内 ・資料送付 ・意見集約 ・配布	・第1回審議会結果報告	・専門部会委員委嘱起案		・第2回専門部会開催案内 ・資料送付 ・意見集約 ・配布	・R5年度事業シート作成 ・R6年度各基本戦略事業予算資料作成
	R6年度事業分 通常予算要求							事業費積算 →	予算査定				

※専門部会委員改選(令和6年2月改選)